4 章: 微分法 § 1: 導関数

1.6 対数微分法

問題

144 $y = x^{x^2}$ (x > 0) の両辺の対数をとって微分する方法によって、導関数を求めよ。 (小樽商科大)

145 x>0 で定義された関数 $y=x^{\sqrt{x}}$ を微分せよ。 (東京電機大)

チェック・チェック

144, **145** y = f(x) が微分可能なとき, $f(x) \neq 0$ であるような範囲では, 両辺の絶対値の対数をとり

$$\log|y| = \log|f(x)|$$

と変形してから、両辺をxで微分して

$$\frac{1}{y} \cdot \frac{dy}{dx} = (\log|f(x)|)'$$

$$\therefore \frac{dy}{dx} = (\log|f(x)|)'y = (\log|f(x)|)'f(x)$$

このような微分の仕方を対数微分法といいます。

4 章: 微分法 § 1: 導関数

144 x>0 より $y=x^{x^2}>0$ であり, $y=x^{x^2}$ の両辺の自然対数をとると $\log y=x^2\log x$

両辺をxで微分すると

$$\frac{y'}{y} = 2x \log x + x^2 \cdot \frac{1}{x} = x(2 \log x + 1)$$

$$y' = x(2\log x + 1)y = x^{x^2+1}(2\log x + 1)$$

145 x>0 より $y=x^{\sqrt{x}}>0$ であり、両辺の自然対数をとると $\log y=\sqrt{x}\log x$

両辺をxで微分すると

$$\frac{y'}{y} = \frac{1}{2\sqrt{x}}\log x + \sqrt{x} \cdot \frac{1}{x} = \frac{\log x + 2}{2\sqrt{x}}$$

$$\therefore y' = \frac{\log x + 2}{2\sqrt{x}}y = \frac{\log x + 2}{2\sqrt{x}}x^{\sqrt{x}}$$